



「心技体」をバランスよく伸ばす2学期に！

校長 中本 稔

新型コロナウイルスの影響で、これまで誰も経験したことのない1学期が終わり、短い夏休みが始まります。保護者の皆様には、休校中の生活や毎朝の検温等、子どもたちが健康に過ごせるようご配慮いただきありがとうございました。制約の多い学校生活でしたが、子どもたちは落ち着いて過ごしており、授業中や休み時間、部活動中にはたくさんの笑顔を見ることができました。これからも子どもたちは「新しい生活様式」の中で過ごすようになります。授業開始は8月17日です。元気に登校できるよう、引き続きご家庭でもよろしく願いいたします。終業式では次のような話をしました。

今日で1学期が終わりです。今年は新型コロナウイルス感染予防のために、学校が1ヶ月あまり休校になり、学校再開後もいろいろと制約の多い生活が続きました。特に、3年生にとっては、目標としていた部活動の大会がほとんど中止となり、悔しい思いをした人も多いと思います。そんな1学期でしたが、嬉しいこともたくさんありました。

私は、地域のいろいろな会議に出席することが多いのですが、ほとんどの会議で地域の方が言われるのが「柳中生はよくあいさつができる」ということです。また、皆さんが、通学路で高齢者が倒れているのを助けていたとか、ゴミ置き場のネットをきちんと直していたと言う話も聞きました。先日は、地面に落ちた幼稚園児の七夕飾りを直していた柳中生の新聞記事を各クラスに掲示してもらいました。みなさんが地域の一員としてきちんと役割を果たしていることとともに、地域の方が皆さんのことをいつも温かい目で見守ってくださるということをととても嬉しく思います。今年は新型コロナウイルスのせいで、地域の祭りや行事がほとんど中止になりました。いつもなら夏休み中に多くの方がボランティア活動をするのですが、残念ながらそれができません。でも、先ほどのように身の回りで困っている人や気がついたことがあれば、積極的に声をかけたり手伝ったりしてください。それも立派なボランティア活動です。よろしくお願いします。

さて、先ほど、県体予選の賞状を渡しました。試合も観に行きましたが、どの種目でも部活中止の長さを感じさせない、爽やかな素晴らしい試合を繰り広げていました。後輩たちの心にも先輩たちの頑張っている姿はしっかりと残っていると思います。1、2年生、3年生のようにいやそれ以上に自分たちの力をしっかりと伸ばしてください。

6月に各学級の授業を参観していたとき、ちょうど2年生の国語で3文字熟語の学習をしていました。3つの漢字をきちんと並べ替える授業でした。たくさん問題の中に、「技」と「体」と「心」を並べ替える問題がありました。どう並べるか分かりますか？そう「心技体」です。

よい選手を表すときに、心技体が備わっている選手、とよく言います。どれを身に付けるのが1番難しいと思いますか？私は「心」だと思います。それはなぜでしょう。体力と技術は練習で身に付けることができます。一生懸命に練習すれば、技術を身に付け、体を鍛えることはできます。しかし、「心」は練習中だけでは成長しません。

「心」は日頃の生活の中で鍛えられるのです。最初に言いましたが、地域の中できちんとあいさつができたり、目の前のゴミを拾ったり、そんな日頃の、何気ない小さな事の積み重ねが自分の心を鍛えることになります。柔道でオリンピック3大会連続金メダルを取った野村忠広選手は「なぜ心が始めに来るのか分かりました。技術をいくら高めてもそれだけでは壁にぶち当たる。その壁を乗り越えるのは心だ」と言われています。

「心技体」が必要なのはスポーツ選手だけではなく、本物の柳中生に成長するためにも必要なものです。「心技体」をバランス良く鍛え、みなさんがさらに成長できるのを期待しています。

